

防犯

かわちながの

令和2年3月

第13号

河内長野防犯協議会

586-0024

河内長野市西之山町6-1

河内長野警察署内

Tel0721-54-1234



河内長野市は、安全・安心のまち

河内長野市自治安全部長兼

危機管理監 浦 俊彦

本市の犯罪発生率の低さは、過去5年間の集計で、府内33市のうち1位となっており、河内長野市は安全・安心のまちであると言っても過言ではないでしょう。

これは、河内長野防犯協議会の皆様が、普段から防犯パトロールや防犯教室、地域安全運動市民大会などでご尽力を賜っている結果であり、心からお礼申し上げます。

また、河内長野防犯協議会におかれましては、昨年9月26日に公益財団法人防犯協会連合会の功労ボランティア団体賞を、南花台防犯協力隊におかれましては、10月11日に内閣総理大臣賞を受賞されました。これは、それぞれの団体の今までの防犯活動の取組が認められたものであり、お祝いを申し上げます。

しかし、特殊詐欺は、いまだに多数発生しており、その手口は、多様化・狡猾化しています。市としましても、犯罪防止に向けて、電話の会話を自動的に録音する装置「自動通話録音装置」の貸出や警察署と連携しながら詐欺防止に取り組んでいるところです。また、昨年7月には、河内長野ガス(株)・警察署・本市が、犯罪防止対策に関する協定を締結し、河内長野ガス(株)からは、自動通話録音装置を寄贈していただくと共に、社用車に啓発ステッカーを掲示し、お客様を訪問する際には注意喚起するなどの取組みをしておられます。

また、幹線道路への防犯カメラの設置にも力を入れており、令和元年度には新たに15台を追加設置し、合計29台の防犯カメラを設置しています。

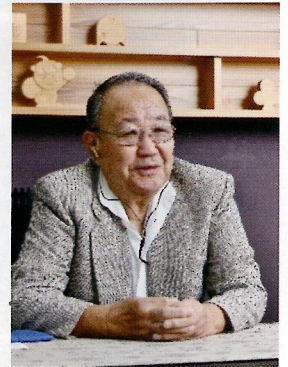
市といたしましては、今後も防犯協議会のみならず、市民の防犯意識の向上を図り、「安全・安心のまち、河内長野市」を目指してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

防犯は ボクが目 キミが目 みんなの目

功労ボランティア団体表彰受賞

河内長野防犯協議会 会長 上奥 雅勇

令和元年9月26日(木)、東京都港区元赤坂の明治記念会館で開催されました全国防犯協会連合会・警察庁主催の「令和元年度全国地域安全運動中央大会」において、河内長野防犯協議会が功労ボランティア団体表彰を受賞することができました。



この度の受賞は、本市における犯罪の発生率(人口10万人あたりの全刑法犯認知件数)が、大阪府下33市の中で最も低く、一番「安全・安心なまち」としての実績を持続してきたことが評価されたものと受け止めています。これは、それぞれの地域の防犯委員をはじめ関係者の方々による、子どもの見守り活動、夜警、防犯教室の開催、各種キャンペーン等を地道に続けていただいた賜ものと心より感謝しております。

今後も、今回の受賞を励みに役員、支部長が一丸となって、警察、市のご指導のもと犯罪防止に向けた情報の発信を行い、防犯委員や関係者の協力をいただいて、府内一番の安全・安心なまちづくりに、なお一層の努力をしてみたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

防犯協議会の取り組み

防犯協議会では、地域の「安全・安心なまち」をめざして、さまざまな活動をしています。

○全国地域安全運動河内長野市民大会

春と秋に、全国地域安全運動が実施されます。これに伴い市民大会を開催し、市民や自治体、警察などが連携を図り、市民の防犯意識の高揚を目指し、市民の安全なまちをつくる運動をしています。



天野山キャンペーン

○各種防犯キャンペーン

毎月11日をひったくり撲滅デー・偶数月15日を振り込め詐欺撲滅デーとして、また、金剛寺・主要駅前・市民まつり会場等でキャンペーンを実施しています。

○防犯教室

地域の防犯意識の向上に協力し、防犯教室の開催を、年間を通じて実施しています。



市民まつり会場

○地区別パトロール

ひったくり・空き巣事件他、不審者出没事案等に応じて、地域との合同パトロール等を随時実施します。

内閣総理大臣賞受賞

○ 南花台防犯協力隊

南花台防犯協力隊は、地域における「安全で安心なまちづくり」をスローガンに児童の登下校を見守り、17年目を迎えました。活動の基本は、「できる時に」「できる所で」「できる事を」というもので、通学路の主要交差点で見守る者、自宅近くの交差点で見守る者、週に1~2回見守る者など様々で、それが長続きの理由だと思います。

昨年はその活動が認められ、安全安心なまちづくり関係功労者として、内閣総理大臣賞という名誉ある表彰を受けることができました。また、河内長野警察署からも感謝状をいただき、隊員一同にとって大きな励みとなりました。

以前にも、文部科学大臣賞、河内長野市長賞を授与されており、協力隊としてこの活動の重要性をさらに強くしつつ、子どもたちの安全・安心を願って見守り活動を続けていく所存です。



(河内長野防犯協議会南花台支部 支部長 大島正英)

青パト新車両出発式

○ 加賀田中学校区青色防犯パトロール隊

2006(平成18)年11月29日に自主防犯パトロール隊として、大阪府警察本部の証明書を得て、同年12月22日に45人の隊員で結成、延べ13年間活動してまいりました。

2019年度日本財団「青パト助成事業」の募集開始情報を河内長野警察署生活安全課防犯係よりいただき、4月23日に申請、5月18日「チーム青パト」審査ご担当者の訪問があり、校区内を1時間巡回及び青パト隊員、地域見守り隊員との意見交換会を行いました。初めての申請にも関わらず、8月2日に助成内示、17日には、交付金決定のお知らせをいただきました。念願であった新車両(セフティーサポートカー)の出発式(車両贈呈式)は、加賀田中学校のご協力をいただき12月8日(日)、市長、行政、警察、防犯協議会、学校、自治会、青少年指導員、地域子ども会児童、隊員を合わせて65人のご列席で盛大に開催できました。



今後とも活動の継続が一番、犯罪を未然に防ぎ、子どもからお年寄りまで安全安心して暮らせるまちづくり活動を続けていきたいと思っております。今後とも皆様のご支援よろしくお願いいたします。

(加賀田中学校区青色防犯パトロール隊 代表 岸本健三)

河内長野市内犯罪認知件数

令和2年1月7日 暫定値

	全刑法犯	ひったくり	路上強盗	自動車盗	車上ねらい	部品ねらい	特殊詐欺
H30	520	1	0	10	22	21	13
R1	407	0	2	8	13	27	21
増減	-113	-1	2	-2	-9	6	8

令和元年の特殊詐欺の被害金額は約 3,580 万円

特殊詐欺に遭わないために

昨年、河内長野市内では特殊詐欺被害の被害額は約 3,580 万円で被害額は減少したものの、被害件数は 21 件と大幅に増加しました。

河内長野市内で被害の多かった手口は、警察官や市役所、金融機関等を名乗って電話をかけ、言葉巧みに暗証番号を聞き出し、キャッシュカードを騙し取り現金を引き出す手口です。

また、有料サイトの未払いが発生しているので、支払手続きをしなければ訴訟(裁判)になると、携帯電話のメールや葉書を送りつけ、連絡してきた被害者にコンビニで電子マネー等を購入させる手口も発生しています。

◎ 注意ポイント

- ・ 警察官や市役所、金融機関の担当者がキャッシュカードの暗証番号を確認することはありません。
- ・ 警察官等が自宅まで赴いてキャッシュカードを預かったり、カードを確認して封筒に入れさせ保管させるようなこともありません。
- ・ 有料サイト利用請求のメールが送られてきても、身に覚えがなければ自分から連絡することなく無視して下さい。
- ・ 息子を名乗って「風邪をひいて声がおかしい」「携帯電話をなくして電話番号が変わった」そして「会社のお金を使い込んでしまった、お金を貸してほしい」等電話があれば詐欺です。

不審な電話があれば、1人で判断せず、家族や警察に相談しましょう。



河内長野警察署シンボルキャラクター「ようじくん」担任!

何か用事は
ありませんか



昨年8月に河内長野市内の小学校、中学校、高等学校に在籍する児童・生徒に公募したところ、「3,156件」もの多数の作品があつまり、その後、河内長野署の警察官による投票によりシンボルキャラクターの「ようじくん」が決定しました。「ようじくん」には応募してくれた作品の多数のアイデアがつまっています。

(河内長野警察署 生活安全課 防犯係)